平成 24 年度　シラバス	学年・期間・区分	５年次 ・ 通年 ・ 必修
	対象学科・専攻	電気電子工学科
卒 業 研 究 （Graduation Research）	担当教員	電気電子工学科全教員
	教員室	電気電子工学科棟 ほか
	E-Mail	
教育形態／単位の種別／単位数	実験・実習 ／ 履修単位 ／ 10 単位	
週あたりの学習時間と回数	前期：授業（400 分）×15 回 ＋ 後期：授業（600 分）×15 回	

〔本科目の目標〕　電気電子工学系に関する各テーマについての研究に取り組み、研究過程を経験することによって、諸問題を解決する能力を養い、技術者・研究者としての素養を身につける．また、研究成果を卒業研究発表会等で講演し、報告書にまとめることによって、プレゼンテーション能力を習得することにも務める．

〔本科目の位置付け〕　１年次から５年次までの全授業科目が関連する．

〔学習上の留意点〕

(1) 技術者として社会に貢献するという意識と責任感を持って取り組む．
(2) 自主的に研究計画を立案し、継続的に研究に取り組む．
(3) 研究課題に関する文献を検索し、その内容を理解できるようになる．
(4) 研究成果を口頭で発表し、また論文としてまとめる能力を養う．

〔授業の内容〕

研究テーマ ／ 研究分野	担当教員
・「燃料電池とスイッチングコンバータに関する研究」 ・「太陽電池の不具合発電パターンによる発電特性とMPPT制御の研究」	楠原
・「細胞・菌体の分離・操作を行うマイクロデバイスの開発」 ・「走査型プローブ顕微鏡による細胞膜機能・物性の計測手法の開発」	須田
・「アナログフィルタの素子感度に関する研究」	井手
・「電力変圧器用部分放電位置標定システム構築に係る検証データの照合評価」 ・「電力設備用オンライン部分放電モニタシステム構築のための予備的検討」	中村
・「薄膜作製プロセスに関する研究」	奥
・「半側空間無視のリハビリテーションソフトの開発」 ・「位置情報取得システムの開発」	今村
・「水中ロボットに関する研究」	瀬濤
・「ＤＳＰを用いたブラシレスモータ制御システムの開発」 ・「パワーエレクトロニクス用シミュレーションソフトの開発」	逆瀬川
・「遺伝的プログラミングにおける螺旋交叉の研究」	前薗

〔教科書〕　各担当教員から別途指示がある．
〔参考書・補助教材〕　各担当教員から別途指示がある．

〔成績評価の基準〕　研究に取り組む姿勢等に対して担当教員が下した評価（60%）と、発表や論文の内容に対する電気電子工学科全教員の評価（40%）によって総合的に評価する．

〔本科（準学士課程）の学習教育目標との関連〕　1-b , 2-a , 3-b , 3-d
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕　2-2 , 3-2 , 3-3
〔JABEE との関連〕　(c) , (d)(2)b) , (g) , (h)

Memo